

## 令和元年度 大東市建設事業事後評価委員会

○日 時：令和2年3月16日（月）午後12時50分～2時15分

○場 所：大東市役所 南別館会議室

### 【出席者】

○委員

福井義員委員（委員長）、船曳悦子委員、山下達美委員、加戸夕起子委員

○事務局

街づくり部都市整備室みどり課 渡邊課長、河村課長補佐、小泉、渡邊（英）、大西

### 【議事録抜粋】

○開会の挨拶

○委嘱状交付

○副市長挨拶

○委員・事務局紹介

○委員長選出

○意見書の提出依頼

○委員長挨拶

○委員会開催の趣旨説明

（事務局） みどり課の小泉でございます。よろしくお願いいたします。

着席にてご説明させていただきます。

まず、本委員会開催の趣旨をお話する前に、本日の説明の内容をお話しさせていただきます。

はじめに、なぜ皆様に集まっていたのか？

次に、市はどんな事業をおこなったのか？

そして、その事業を行うことで目標は、達成できたのか？

また、今後の方針は？

ということを、順次、説明申し上げます。

なにぶん、判りづらいことが、多々あるかと思っておりますので、認識を深めるためにも、議題ごとに質疑の時間を設けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第6—①委員会開催の趣旨を、簡単にご説明させていただきます。

お手元資料②をご覧ください。

まず、建設事業事後評価の概要についてご説明いたします。

事後評価とは、社会資本総合整備計画の交付期間の終了時は、整備計画の目標の実現状況について評価を行う必要があります。

今回は、平成27年度から平成31年度までの5年間で中垣内浜公園の施設整備を中心に実施した事業を評価するにあたり、「大東市附属機関条例」に基づく「大東市建設事業事後評価委員会規則」により、本委員会を設置したものでございます。

本委員会においてご審議いただき、その結果は国の社会資本整備総合交付金要綱第10の規定に基づき国土交通大臣に報告いたします。

「大東市建設事業事後評価委員会規則」により、本委員会の組織として、市政について公平な立場にあり、かつ、建設事業に関し識見を有する者の中から、市長が委嘱する。としており、今回、委員の皆様にお集まりいただいた次第でございます。

また、委員会の庶務は建設事業の事後評価を実施する課等において行なう。としており、今回は、街づくり部都市整備室みどり課が実施させていただきます。以上が、本委員会の開催の趣旨でございます。

## 《質疑応答 なし》

(事務局)

それでは、社会資本総合整備計画「大東市における安全・安心なまちづくり(防災・安全)」の概要について説明させていただきます。

今回ご審議頂きます、整備計画の概要をご説明させていただきます。

計画の名称は、大東市における安全・安心なまちづくり(防災・安全)、計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5か年としております。

計画の目標には、「大東市地域防災計画における防災拠点に位置付けられている都市計画公園について、災害時における一時避難場所及び救援活動拠点としての機能強化を図るとともに、平常時は環境保全・景観形成・レクリエーションなど市民のニーズに合わせた施設整備を行う。」としております。

今回ご審議いただきます、整備計画の対象となる公園をご紹介します。まずは、中垣内浜公園です。こちらは大東市の東部に位置する公園でございます。次に大東中央公園です。こちらは市役所の北側に位置する公園でございます。

次に本整備計画の目標について、公園ごとにご説明いたします。

まずは中垣内浜公園でございます。中垣内浜公園の本整備計画における目標は、「中垣内浜公園避難圏域における避難人口を7,300人とする。」というものです。これは、遊具や園路、多目的広場などの施設整備と、一部の用地買収を事業として進めています。平成28年度から平成31年度にて施設整備および用地買収も完了します。

中垣内浜公園の計画の成果目標です。成果目標としては、先ほど申し上げさせていただいた通り、「中垣内浜公園避難区域における避難人口を7,300人とする。」というものでございます。この数値を後ほど達成しているかの評価をする必要がありますので、詳細をご説明させていただきます。

避難圏域人口とは、避難予定地区内の人口で、それに対する中垣内浜公園を整備することで本公園への避難人口を増加させることを目的としております。

避難人口の算出方法は、避難圏域人口として、避難予定地区内の人口21,500人に対し、本圏域の避難地となる空地、いわゆる学校や都市公園等の避難地有効面積が4.4haあるのに対し、中垣内浜公園を1.5ha整備することにより、避難人口を7,300人確保しようとするものです。

中垣内浜公園を赤丸で表記しております。赤線で囲っている区域が、本公園への避難予定地区で、避難圏域人口約21,500人のうち公園1.5haを整備することで、7,300人の避難を受け入れようとするものです。

中垣内浜公園の平面図でございます。

本整備計画により、多目的広場を2箇所、東側にふれあい花壇、芝生広場、南側に遊具広場を整備いたしました。なお、本公園の施設整備においては、災害時に炊き出しなどに利用できる「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」、「四阿」、「備蓄倉庫」などの防災用施設を備えております。

次に大東中央公園です。大東中央公園の本整備計画における目標は、「大東中央公園の事業用地買戻しを完了（100%）とする。」というものです。これは用地の買戻しを事業として進めます。大東中央公園は平成22年度から平成24年度において、遊具や園路などの施設整備は完了いたしております。本整備計画では、都市開発資金にて先行取得した公園用地の買戻しを対象としております。

大東中央公園の計画の成果目標として先ほど申し上げたとおり、「大東中央公園の事業用地買戻しを完了（100%）とする。」としております。買戻し対象面積としては、公園全体で25,188.1㎡となっております。

大東中央公園の平面図でございます。主に北側に多目的広場が2か所、南西側にちびっこ広場と災害用備蓄倉庫がございます。ヘリポートについては過年度に整備を完了しております。なお、本公園の施設整備においては、災害時に炊き出しなどに利用できる「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」、スツールが洋式便器になるなど防災用施設を備えております。

説明は以上でございます。

## 《質疑応答なし》

(事務局) 中垣内浜公園の事後評価書(案)の1. 交付対象事業の進捗状況についてご説明します。

基幹事業であります、中垣内浜公園の事業進捗でございます。

平成27年度には、実施設計として整備図面等の作成を行い事業費約5百万円でございます。

平成28年度には、第Ⅰ期工事として主に多目的広場の整備を行い約6,000㎡について事業費約7千5百万円で整備いたしました。平成29年度には、第Ⅱ期工事として主に芝生広場、ふれあい花壇等の約3,000㎡を事業費約7千4百万円で整備いたしました。平成30年度には、第Ⅲ期工事として主に多目的広場、駐車場等の約3,000㎡を事業費約9千1百万円で整備いたしました。また用地買収費として約3千5百万円でございます。平成31年度には、第Ⅳ期工事として主に遊具広場、便益施設等の約3,000㎡を事業費約8千5百万円で整備いたしました。中垣内浜公園の5年間の事業費は、約3億6千7百万円です。うち国からの補助金は約1億2千4百万円でございます。約33.9%が国からの補助金となっております。

中垣内浜公園の整備経過でございます。平成28年度には、第Ⅰ期工事北側の多

目的広場等を整備しております。平成29年度には、第Ⅱ期工事で北東側の芝生広場とふれあい花壇等を整備しております。平成30年度には、第Ⅲ期工事で南側多目的広場と駐車場等を整備しております。平成31年度には、第Ⅳ期工事で遊具広場と便益施設等を整備しております。

説明は以上でございます。

### 《質疑応答》

(委員) 中垣内浜公園は大東市地域防災計画により一時避難場所として位置づけられて防災公園として整備されたということはわかりましたが、大東中央公園については同様な位置づけのもと整備されたのでしょうか。用地買収と施設整備が逆ではないでしょうか。また、ヘリポートがあるとのことですが、ヘリは何機着陸できるのでしょうか。

(事務局) 大東中央公園につきましても大東市地域防災計画における広域避難場所と位置づけられて平成22年度から平成24年度において防災公園として施設整備を施行したものです。用地買戻しについて何故逆になっているのかと申しますと、都市開発資金制度を利用して国から資金を借りて、施設整備に先行して用地買収を行い施設整備をしました。その借りた資金を返済する行為が後になっている状態なので今回の用地買戻しが対象となっています。中垣内浜公園は資金を借りて用地買収をしたのではなく、補助金をもらって用地買収をした後に施設整備を施行したため、大東中央公園のように用地が後になっているということはありません。またヘリにつきましては1機の着陸を想定いたしております。

### 《質疑応答 終了》

(事務局) 中垣内浜公園事後評価書(案)の2. 事業効果の発現状況、目標の達成状況についてご説明します。

定量的指標の達成状況でございます。当初の目標を避難人口、7,300人としておりました。実績でございますが、中間目標値として平成29年度末時点で整備済の面積が平成28年度整備面積約6,000㎡と平成29年度整備面積約3,000㎡との合計で約9,000㎡となり算式の整備面積として計算しますと、避難人口は4,400人となります。最終の平成31年度末時点では、平成29年度までの整備面積約9,000㎡に平成30年度整備面積約3,000㎡および平成31年度整備面積約3,000㎡を合計して約15,000㎡で、1.5haになりますので、避難人口は7,300人となります。これで整備計画策定時に、目標値として設定しておりました7,300人を達成することができました。

次に、定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況でございます。定量的指標とは、数値で表す指標のことですが、避難人口の増加に関連する、交付対象事業の効果の発現状況についてでございます。1つ目、一時避難場所である中垣内浜公園を整備したことにより、市民の防災意識の向上が図れました。2つ目、防災倉庫、防災トイレ等の整備により緊急時の災害対策の充実を図りました。としております。

これ以外にも、いろんな効果があったかと思しますので、委員の皆さままでお気づきの点がありましたら、ご意見を頂きたいと思います。

次に、定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況でございます。避難人口の増加に関係はないが、交付対象事業による効果の発現状況でございます。1つ目、園路や遊具等の施設整備により、子供から高齢者までの憩いの広場となり、地域コミュニティの醸成が図れました。2つ目、多目的広場の整備により、少年野球やグラウンドゴルフ等子供から高齢者までスポーツを通じて市民の交流が図れました。としております。これ以外にも、いろんな効果があったかと思しますので、委員の皆さままでお気づきの点がありましたら、ご意見を頂きたいと思います。説明は以上でございます。

### 《質疑応答》

(委員) 一時避難場所としての防災公園であるということですが、有事の際、電力の供給が断たれた時のためのソーラーパネルであるとか、水道及び下水道施設が機能しなくなった時のための貯水槽、防火水槽などはありますか。また、中垣内浜公園にて景観などに力を入れて整備した箇所はありますか。

(事務局) ソーラーパネルですが、備蓄倉庫の上部に備えています。ソーラーパネルによる蓄電を行っています。ちなみにソーラー発電による照明灯も公園入口付近にあります。貯水槽ですが、中垣内浜公園にはありません。また防火水槽についても中垣内浜公園にはありません。公園整備において特に力を入れた箇所は芝生広場です。球技などに使用される多目的広場とは趣の違った広場であり、公園利用者の憩いの場となっております。

(委員) 一時避難場所ということで7, 300人を受け入れるということですが、マンホールトイレなどの(使用方法などの)避難場所としての青写真はできているのですか。

(事務局) 中垣内浜公園は一時避難場所ということで、今回の計画にはございませんが、中垣内浜公園南側にある市道中垣内公園前線の開放水路に人が転落しないように暗渠化を進めています。また、マンホールトイレの屋根についてはJR高架下にある防災備蓄倉庫にテントを常時準備しています。防災施設についてはそのまま使えるもの、トイレのように屋根にテントが必要なものと分けて備えています。

(委員) かまどベンチや備蓄倉庫、マンホールトイレを整備され、市民の防災意識が図れたとのことですが、これらの施設を使用して避難訓練などはされているのでしょうか。

(事務局) 中垣内浜公園はまだ新設された公園ですので、防災訓練などの使用はこれからの状態です。中垣内浜公園は中垣内地区が中心となるのですが、中垣内地区は3年前に中

学校校庭を利用して大規模な防災訓練をされています。これらの防災訓練を今後は中垣内浜公園においても実施してもらうように啓発していきたいです。

(委員) 訓練する際は、大阪産業大学へも声かけしてもらうようにお願いします。

(委員長) 前回の大東中央公園の事後評価の際にもありましたが、アルファ化米など備蓄物資の消費期限が近づき、入れ替える時期に防災訓練を行われたりすることもあるようです。

### 《質疑応答 終了》

(事務局) 中垣内浜公園の事後評価書(案)の3. 特記事項(今後の方針等)についてご説明します。

今回の社会資本総合整備計画では、本市の一時避難場所である中垣内浜公園を整備してまいりましたが、本公園は北側には一級河川鍋田川があり、アクセス道路は南側の市道中垣内浜公園前線のみであります。市道中垣内浜公園前線は、現在のところ一方通行であります。拡幅整備を順次進めており、将来的には双方向通行を目指しています。双方向通行となることで、物資輸送や避難ルート等の防災機能の更なる向上に努めてまいります。

説明は以上でございます。

### 《質疑応答》

(委員) 170号線(旧の外環)について、大阪産業大学のあたりが狭いと思うのですが、拡幅の計画はどうなっていますか。

(事務局) 170号線(旧の外環)につきましては、大阪府道であり、大阪府枚方土木事務所のほうで中垣内地区と協議しながら適宜、事業を進めているところです。

(委員) 双方向通行になるということは、外環の進入路も必要になると思いますが(府道管理者と)協議しているのですか。

(事務局) 双方向通行については、将来、双方向通行ができるような幅員で整備を進めるものです。用地買収に時間がかかりますので、双方向通行に目処がついてきた時に協議ということになります。

### 《質疑応答 終了》

(事務局) 大東中央公園の事後評価書(案)の1. 交付対象事業の進捗状況についてご説明します。

基幹事業であります、大東中央公園の事業進捗でございます。平成 27 年度には、用地買収費として約 5 千 1 百万円でございます。平成 28 年度には、用地買収費として約 2 千 5 百万円でございます。大東中央公園における用地買戻しはこの 2 か年で終了し、2 年間の事業費は約 7 千 6 百万円です。うち国からの補助金は 2 千 5 百万円です。約 32.8% が国からの補助金となっております。

本整備計画ではございませんが、大東中央公園の整備経過を参考にご紹介いたします。平成 22 年度には、第 I 期工事で北東側の多目的広場等を整備しております。平成 23 年度には、第 II 期工事で北西側の多目的広場と災害用備蓄倉庫等を整備しております。平成 24 年度には、南西側ちびっこ広場および南東側の駐車場を整備しております。なお、南側の一級河川鍋田川沿いについては、未整備となっております。

次に大東中央公園用地取得状況です。平成 27 年度の買戻しの部分です。平成 28 年度の買戻しの部分です。

説明は以上でございます。

### 《質疑応答 なし》

(事務局) 大東中央公園の事後評価書(案)の 2. 事業効果の発現状況、目標の達成状況についてご説明します。

定量的指標の達成状況でございます。当初の目標を用地の買戻しの進捗率、100%としておりました。実績でございますが、平成 27 年度当初は 98%で、平成 27 年度において用地取得面積 25,110.52 m<sup>2</sup>、平成 28 年度において用地取得面積 25,188.1 m<sup>2</sup>となり、この時点で当初の目標である用地の買戻しの進捗率 100%を達成しております。

次に、定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況でございます。定量的指標とは、数値で表す指標のことですが、用地の買戻しに関連する、交付対象事業の効果の発現状況ということになります。これは施設整備が既に完了しておりますので、今回において完全に事業が完了したことになります。従って大東中央公園が完成したことにより、大東中央公園を整備したことにより防災訓練を実施するなど、市民の防災意識の向上が図れました。2つ目、公園施設整備により、スポーツなどの利用が盛んになったなどの効果がございます。これ以外にも、いろんな効果があったかと思っておりますので、委員の皆さままでお気づきの点がありましたら、ご意見を頂きたいと思っております。

説明は以上でございます。

### 《質疑応答》

(委員) 大東中央公園は大東市の中心にあるように思いますが、利用の観点から考えるとあまり使用されていないように思います。大東中央公園(多目的広場)の使用状況はどのような感じでしょうか。

(事務局) 大東市公園予約システムにより、チーム登録していただいたチームにて予約していただいで使用していただいでいる状況です。予約が重なれば抽選となります。平日午前中はグラウンドゴルフ、土日は少年野球の利用が多く、約 3 割の予約があります。予約以外にも散歩やランニングなどの利用もあります。

公園に隣接する都市計画道路深野北谷川線を整備中でありまして、この道路が完成すれば、より一層の公園利用が望めるのではないかと考えています。

(委員) 予約した場合の公園利用料はいくらでしょうか。

(事務局) 無料です。

(委員長) 予約しないで使用されている方も多数おられると考えます。

#### 《質疑応答 終了》

(事務局) 大東中央公園の事後評価書（案）の 3. 特記事項（今後の方針等）についてご説明します。

今回の社会資本総合整備計画では、本市の広域避難地である大東中央公園を整備してまいりましたが、本公園は北側と西側に一級河川谷田川、南側には一級河川鍋田川と河川に分断されており、アクセス道路は東側の都市計画道路深野北谷川線のみであります。深野北谷川線は、災害時の広域緊急交通路であります大阪生駒線までの計画となっておりますが、まだ大東中央公園から南側の整備が完成には至っておりません。

この深野北谷川線を広域緊急交通路であります府道大阪生駒線まで早期に整備することで、物資輸送や避難ルート等の防災機能の更なる向上に努めます。

説明は以上でございます。

#### 《質疑応答》

(委員長) 都市計画道路深野北谷川線の整備進捗状況を教えていただけないでしょうか。

(事務局) 明示は確定し、河川協議などの官公庁協議は終了しています。後は用地買収と予算次第になります。

#### 《質疑応答 終了》

(委員長) それでは、このあたりで総括してまいりたいと思います。

事務局から提示されました事後評価書（案）について、委員の皆さまから頂いた意見を踏まえ、文言等、微細な変更を含めまして、委員長である私のほうに一任していただき、社会資本総合整備計画『大東市における安全・安心なまちづくり（防災・安全）』についての、事後評価書（案）については妥当である』と結論づけたいと思

ますが、みなさん、いかがでしょうか。

<異議なし>

(委員長) この事後評価書(案)につきましては、後日、私のほうから東坂市長に答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

(委員長) 委員の皆さまには、市長へ答申した事後評価書の写しを送付するように事務局へ指示いたします。

それでは、大東市建設事業 事後評価委員会の審議はこれで、終わらせていただきます。

限られた時間での審議でしたが、皆さまのご協力に感謝いたします。  
ありがとうございました。